

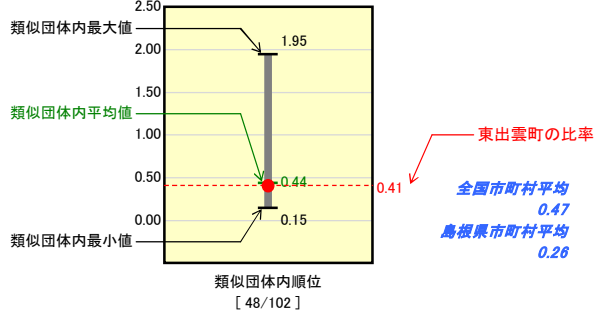
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

島根県 東出雲町

人口	14,267人(H17.3.31現在)
面積	42.64 km ²
歳入総額	4,847,226千円
歳出総額	4,680,240千円
実質収支	160,731千円

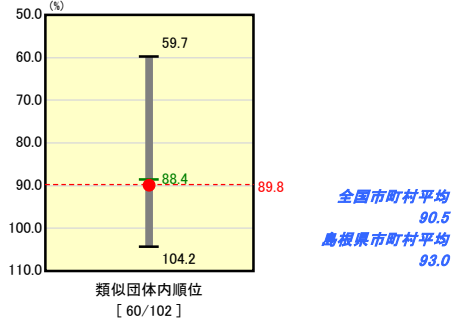
財政力

財政力指数 **[0.41]**



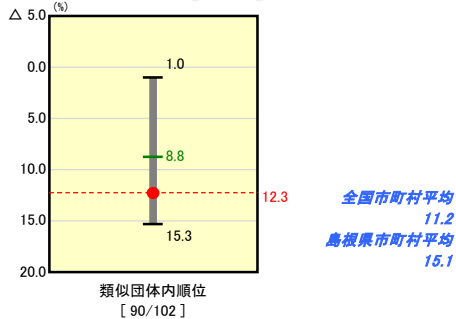
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[89.8%]**



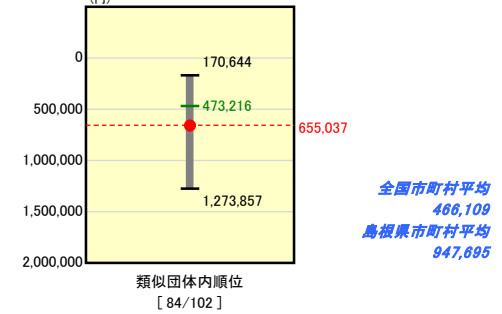
公債費負担の健全度

起債制限比率 **[12.3%]**



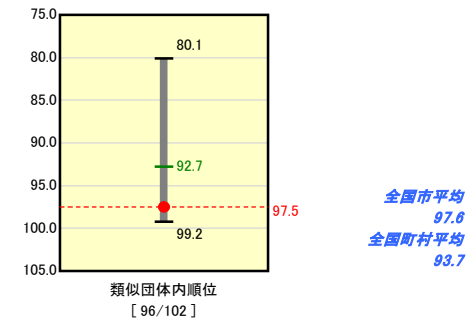
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[655,037円]**



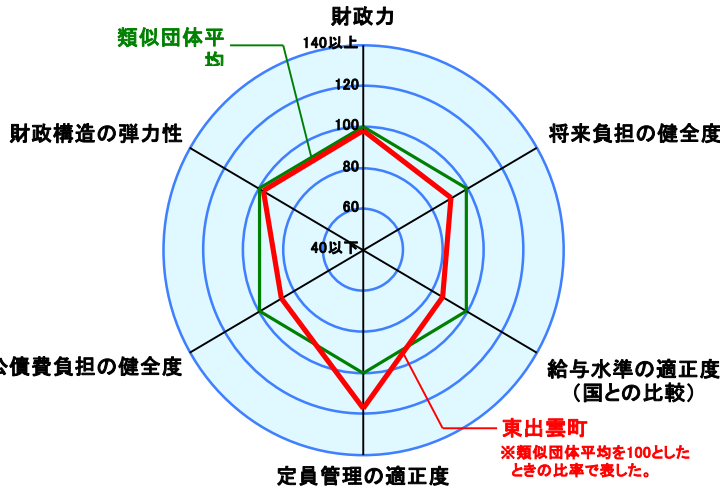
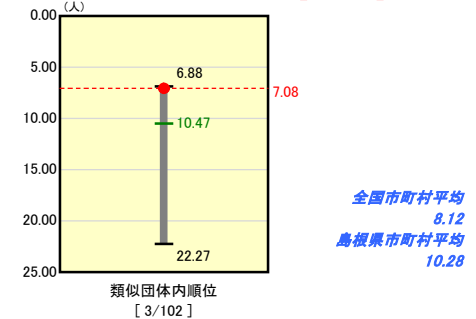
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[97.5]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[7.08人]**



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
近年0.4前後で推移している。交付税が削減傾向にある中、交付税依存度の低減を計る方向で財政運営に努める。

【経常収支比率】
過去に実施した、大規模な普通建設事業に伴う公債費の償還が年々増加し、近年は80%代後半で推移している。特別職及び議員の報酬カットや職員給与の昇給延伸を行うなど、人件費の削減を中心とした経常経費の圧縮により数値の改善に努めているが、今後も公債費及び扶助費等が増加傾向にあるため、人件費のみならず物件費等も含めた削減を計る予定である。

【起債制限比率】
上記と同様な理由で、近年12%前後で推移している。数値の改善にも同様の対応が必要であり、併せて実施する予定である。

【人口1人当たり地方債現在高】
平成16年度以降、単年度の起債発行額を、当該年度の元金償還額以内に抑制したことに加え、近年本町人口が増加傾向にあることから、年々当該数値は減少している。

【ラスパイレス指数】
類似団体平均等に比べ高い数値となっている。今後集中改革プランに基づき、計画的な職員の採用や適切な給与制度を構築することにより改善を計る予定である。

【人口1,000人当たり職員数】
これまでも、事務事業及び組織体制の簡素・合理化に取り組んできているが、今後も集中改革プランに基づき、5年間で6.8%(H17:117人→H22:109人)の減員を目標とした定員管理の適正化に努める。